



No.22-16

2022年12月12日

中小企業の約9割が何らかのリスクを認識 一方で、実際に被害に遭った企業の約半数が リスクへの「備えが不足していた」と回答

～「中小企業におけるリスク意識・対策実態調査2022」を発表～

一般社団法人 日本損害保険協会(会長：白川 儀一)は、2021年度に引き続き、中小企業の経営者と従業員1,031名を対象に、企業を取り巻くリスクに対する意識・対策実態調査を行いました。

異常気象による自然災害、サイバー攻撃や長引く感染症の影響など、企業は様々なリスクにさらされています。

本調査は、多様化・複雑化するリスクに対する中小企業の意識、実際の被害内容や被害額、損害保険への加入状況などについて調査したもので、2021年度に続いての実施となります。

当協会では、災害に強い社会の実現に向けて、本調査結果を活用し、事業者向け保険の普及促進に関する各種取り組みを実施してまいります。

<調査結果の主なポイント> 各ポイントの解説は別紙をご覧ください。

1. 約9割(86.6%)が自社を取り巻く何らかのリスクを認識し、そのうちの79.1%が「深刻に受け止めている」
2. リスクを認識している人のうち、半数以上(54.3%)が損害保険に加入
3. 実際に被害に遭った企業からは、「被害がこんなにも大きくなるとは...」(53.0%)「備えが不足していた」(49.1%)との声も
4. 「勤務中や移動中における損害賠償」「製造物に関する損害賠償」「自然災害」に対する損害保険への加入率は60%前後。一方で、その他のリスクに対する加入率は高くても20%程度
5. リスク対策をしていない理由は「費用に余裕がないため」「対策方法が分からないため」がいずれも30%以上
6. 「サイバーリスク」への関心度は2021年調査から3.9ポイント上昇、「サイバー保険」の認知度も5.3ポイント上昇

中小企業におけるリスク意識・対策実態調査2022 調査結果報告書

https://www.sonpo.or.jp/sme_insurance/report2022/

「中小企業におけるリスク意識・対策実態調査」2022の概要

- ・調査期間：2022年9月8日(木)～12日(月)
- ・調査方法：インターネット調査
- ・調査対象：中小企業の経営者および従業員
 <条件> 損害保険契約関係者(決定権あり/選定関与)
- ・サンプル数：1,031サンプル

こちらをご参照ください。

中小企業に必要な保険 特設サイト：https://www.sonpo.or.jp/sme_insurance/

サイバー保険 特設サイト：<https://www.sonpo.or.jp/cyber-hoken/>

<ご参考>

中小企業が実際に直面した危機と保険による備えに関するテレビCMを制作し、BS日テレで全4回にわたり放送します。

いつどこで起きてもおかしくない災害や事故への対応や復活の物語をご紹介します、「備え」の大切さを伝えていきます。

<映像コンテンツの放送概要(予定)>

第1回(2022年12月24日(土)20:54-21:00)

: 令和元年8月の前線に伴う大雨による工場の浸水(製造業)

第2回(2022年12月29日(木)22:54-23:00)

: 令和元年台風第15号による太陽光パネルの被害(不動産業)

第3回(2023年1月2日(月)22:54-23:00)

: ECサイトへのサイバー攻撃(仲卸業)

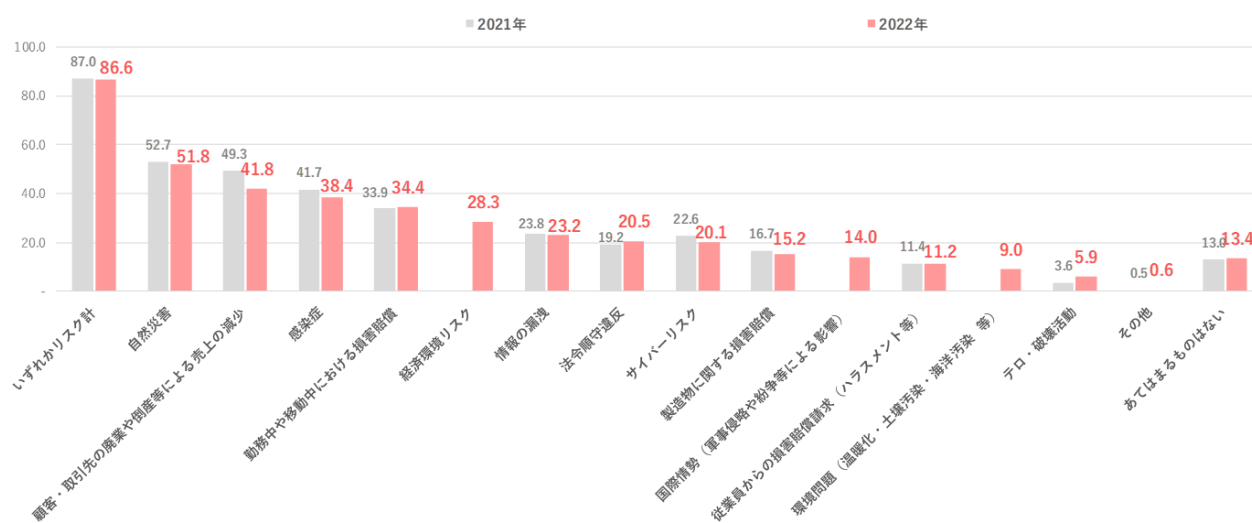
第4回(2023年1月7日(土)20:54-21:00)

: 令和2年7月豪雨に伴う販売所の浸水、中小企業のリスク対策(卸売業、中小企業診断士)

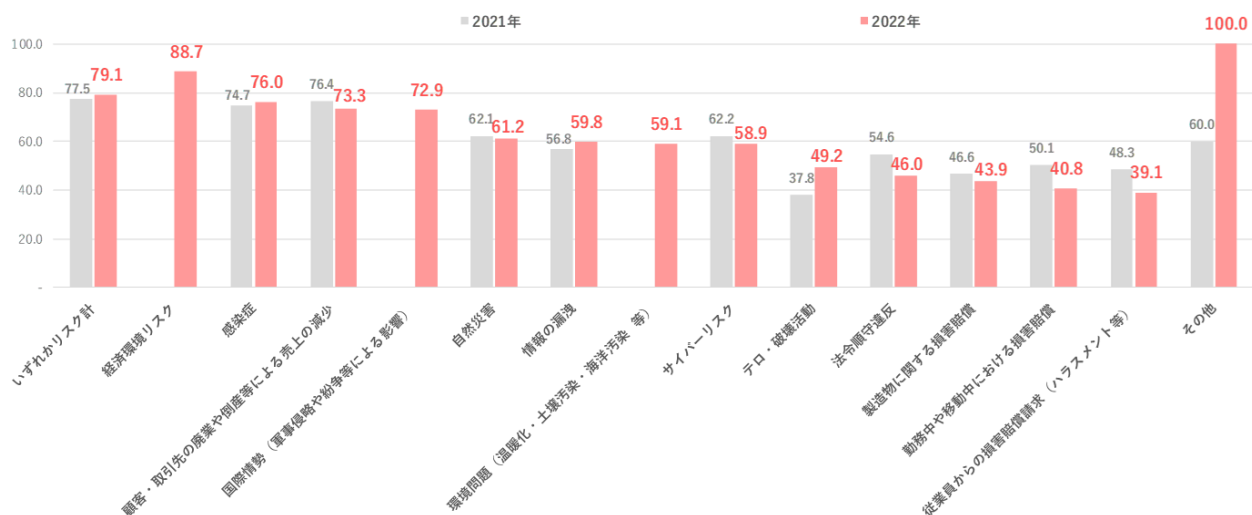
①約9割(86.6%)が自社を取り巻く何らかのリスクを認識し、そのうちの79.1%が「深刻に受け止めている」

- ・「事業活動を行っていく上で考えられるリスク」として、9割近く(86.6%)の企業が何らかのリスクを認識しており、そのうちの79.1%が「深刻に受け止めている」と回答。特に、「自然災害」(51.8%)、「顧客・取引先の廃業等による売上の減少」(41.8%)、「感染症」(38.4%)が多く挙げられました。

Q1. お勤めの企業が、事業活動を行っていく上で、考えられるリスク(危険)はどのようなものがありますか。以下の中からあてはまるものをすべてお知らせください。
 ※回答対象: 全体(n=1,031)



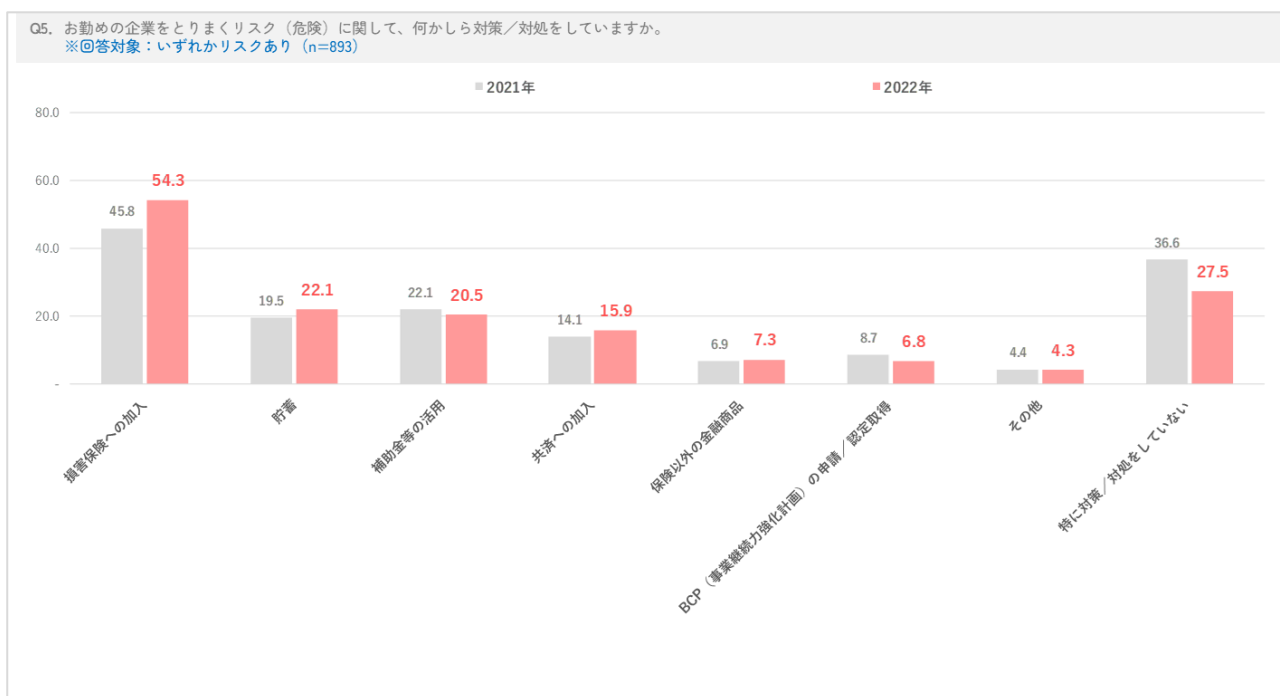
Q2. お勤めの企業をとりまくリスク(危険)に関して、どの程度深刻な問題ととらえていますか。
 ※回答対象: いずれかリスクあり(n=893)



②リスクを認識している人のうち、半数以上(54.3%)が損害保険に加入

- ・何らかのリスクを認識している893名に「リスクに対して何かしら対策/対処をしているか」聞くと、半数以上(54.3%)が「損害保険への加入」をしていると回答しており、2021年調査から

8.5ポイント増加となりました。以下、「貯蓄」（22.1%）「補助金等の活用」（20.5%）が続きます。



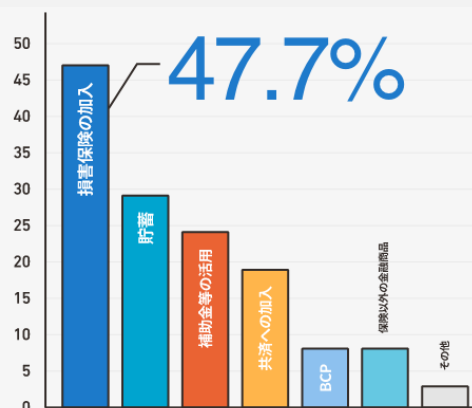
③実際に被害に遭った企業からは、「被害がこんなにも大きくなるとは…」(53.0%)「備えが不足していた」(49.1%)との声も

- ・勤め先の企業で「何らかのリスクにより被害を受けたことがあるか」を聞くと、27.8%が「ある」と回答。被害を受けた際の考えを聞くと、「被害がこんなにも大きくなるとは思っていなかった」(53.0%)、「リスクに対する備えが不足していたと思う」(49.1%)との声が多く挙がり、リスクに対して十分な備えができていない企業も多いことが分かりました。
- ・また、実際に被害に遭ったことがある企業に「どのような対策をしておくべきだったと感じたか」聞くと、およそ半数(47.7%)が「損害保険への加入」に対して肯定的な回答。取っておくべきだった対策として、その他の「貯蓄」(29.3%)や「補助金等の活用」(24.7%)などと比べても、「損害保険への加入」が最も高くなりました。

被害にあったときの考え



「どのような対策をしておくべきだったと感じたか」に対する、実際に被害に遭ったことがある企業の回答



④ 「勤務中や移動中における損害賠償」「製造物に関する損害賠償」「自然災害」に対する損害保険への加入率は60%前後。一方で、その他のリスクに対する加入率は高くても20%程度

- ・リスク別では、「勤務中や移動中における損害賠償」(62.8%)、「製造物に関する損害賠償」(61.1%)、「自然災害」(56.4%)に対する「損害保険への加入」率は60%前後です。
- ・一方で、その他のリスク(「従業員からの損害賠償請求」「サイバーリスク」「環境問題」「情報の漏洩」など)に対しては、「損害保険への加入」率は高くても20%台と、損害保険による対策が定着していないことが考えられます。

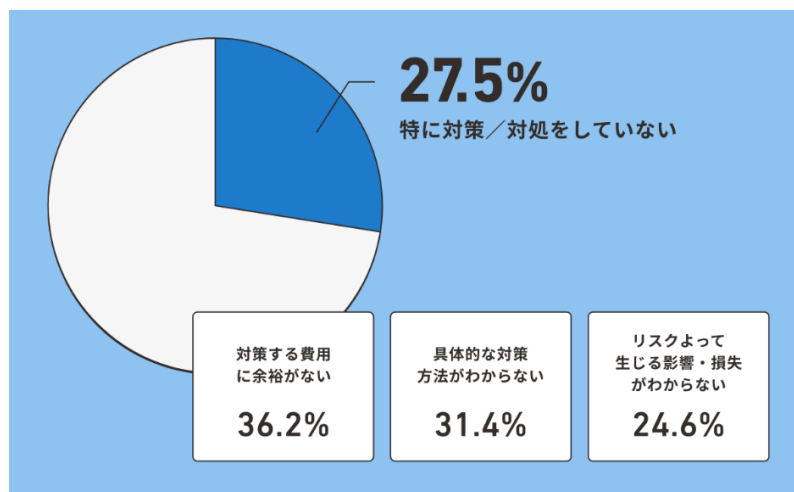
Q5. お勤めの企業をとりまくリスク(危険)に関して、何かしら対策/対処をしていますか。
※回答対象: いずれかリスクあり (n=893)

	n	損害保険への加入	貯蓄	補助金等の活用	共済への加入	保険以外の金融商品	BCP/事業継続力強化計画の申請/認定取得	その他	特に対策/対処をしていない (%)
全体	893	54.3	22.1	20.5	15.9	7.3	6.8	4.3	27.5
自然災害	534	56.4	12.9	5.6	11.8	3.6	3.4	0.4	36.7
環境問題(温暖化・土壌汚染・海洋汚染等)	93	23.7	14.0	9.7	7.5	8.6	9.7	-	57.0
国際情勢(軍事侵略や紛争等による影響)	144	8.3	19.4	9.0	7.6	6.3	4.9	0.7	68.1
法令順守違反	211	19.4	7.1	5.2	7.1	3.8	6.2	1.4	64.5
サイバーリスク	207	23.7	8.2	7.2	2.4	5.8	4.3	6.8	57.5
テロ・破壊活動	61	16.4	16.4	4.9	1.6	4.9	4.9	1.6	62.3
経済環境リスク	292	6.8	26.0	17.1	3.1	3.8	4.1	1.0	57.2
顧客・取引先の廃業や倒産等による売上の減少	431	10.7	20.6	14.2	6.3	4.6	3.7	1.4	55.5
情報の漏洩	239	23.8	9.6	5.0	5.4	2.9	5.9	3.8	57.7
製造物に関する損害賠償	157	61.1	7.6	6.4	8.3	1.3	4.5	-	25.5
従業員からの損害賠償請求(ハラスメント等)	115	24.3	13.9	3.5	6.1	7.0	4.3	-	62.6
勤務中や移動中における損害賠償	355	62.8	8.2	5.1	14.1	2.8	2.0	0.8	25.6
感染症	396	17.4	9.1	18.4	8.1	2.0	3.8	3.3	55.3
その他	6	16.7	-	-	-	-	-	66.7	33.3

■: 1位、■: 2位、■: 3位

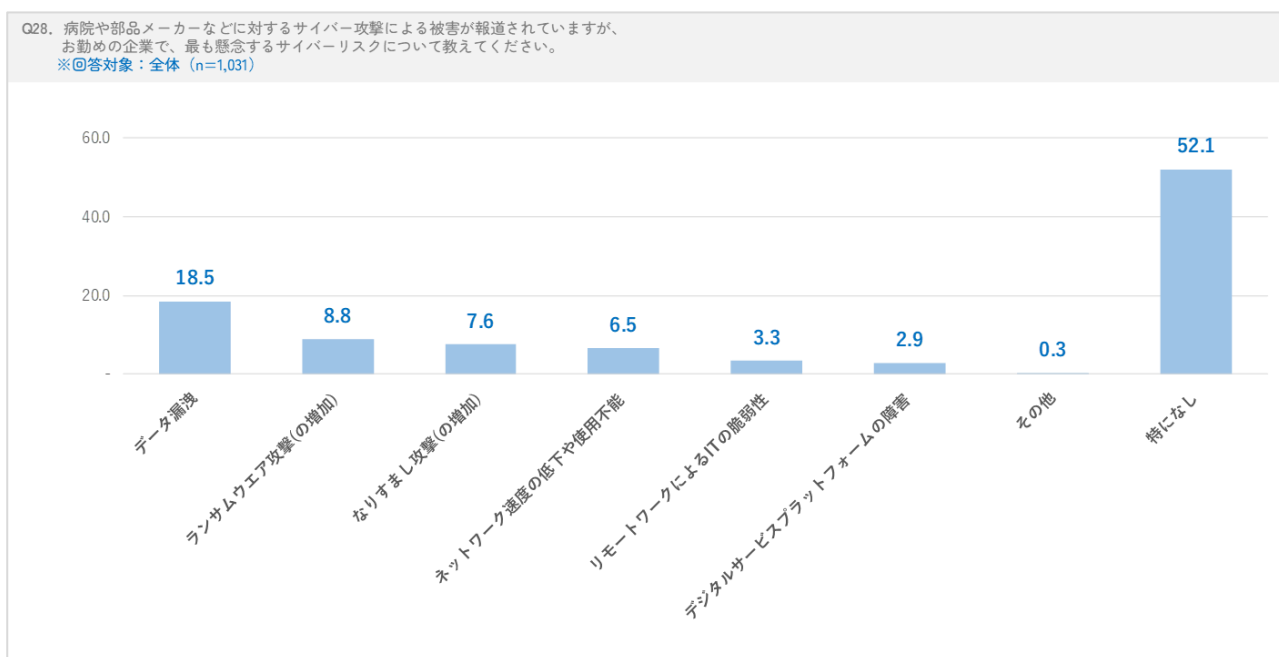
⑤ リスク対策をしていない理由は「費用に余裕がないため」「対策方法が分からないため」がいずれも30%以上

- ・何らかのリスクを認識している893名のうち、「特に対策/対処をしていない」との回答は2021年度の調査結果から9.1ポイント減少し27.5%となりました。対策をしていない理由を聞くと、「対策をする費用に余裕がないため」(36.2%)が最多で、「具体的な対策方法が分からないため(相談先がわからない)」(31.4%)、「リスクによって生じる影響・損失が分からないため」(24.6%)が続きました。



⑥「サイバーリスク」への関心度は2021年調査から3.9ポイント上昇、「サイバー保険」の認知度も5.3ポイント上昇

- ・近年、サイバー攻撃は巧妙化、悪質化が進み、脅威が高まっています。「サイバーリスク」に対する経営課題としての関心度は、2021年度の調査結果から3.9ポイント増加し84.1%、「サイバー保険」の認知度も5.3ポイント増加し41.9%となり、各社、サイバーリスクに対する関心が高まっていることが分かりました。
- ・「懸念するサイバーリスク」を聞くと、「データ漏洩」(18.5%)が最も高く、以下、「ランサムウェア攻撃(の増加)」(8.8%)「なりすまし攻撃(の増加)」(7.6%)と続きます。一方で、半数以上(52.1%)は「特になし」と回答しています。



<まとめ>

近年、リスクは多様化・複雑化しており、いつどのように発生するか分かりません。今回の調査でも、「近年リスクが増えていると思う」(64.2%)や「経営責任として、保険加入が必要だと思う」(60.3%)との回答が2021年調査から増加しており、経営を進めるうえでの保険の重要性がうかがえます。

保険加入のきっかけは、「保険代理店からの提案があったから」(32.5%)、「保険会社から提案があったから」(26.7%)、「年々リスクが複雑化していると思うから」(26.1%)がトップ3です。認識しているリスクへの対策や補償などを知るために、一度、損害保険代理店または保険会社に相談してみてもはいかがでしょうか。